地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（令和4年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
阿賀野市	下水道事業	特定環境保全公共下水道	―

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
		●					

抜本的な改革の取組状況

取組事項	（下水道事業）広域化等

実施済	
実施予定	●
検討中	

（実施類型）

汚水処理施設の統廃合

処理場廃止あり	処理場廃止なし

公共下水・流域下水の統合	公共下水同士の統合	集落排水・公共下水との統合	特環下水と公共下水との結合	その他

汚泥処理の共同化	維持管理・事務の共同化	最適な汚水処理施設の選択（最適化）

（取組の概要）

人口減少に伴う処理量の減少や集落排水施設の経年劣化等を鑑み、汚水処理施設整備構想において、農業集落排水事業の公共下水道事業への統合方針とした。令和6年4月1日を目途とし、大和地区の農業集落排水し施設を特定環境保全公共下水道事業に統合することとしている。

（実施（予定）時期）

令和		
6	4	1
年	月	日

（取組の効果額）

450	百万円(年)

（取組の効果額内訳）

維持管理費　年▲450万円

（取組の概要）

（検討状況・課題）